

2022年3月期 決算説明会

ロート製薬株式会社
2022年5月13日

2022年3月期 連結決算の概要

副社長 兼 CFO
齊藤 雅也

2022年3月期の概況

□ 概況

- 新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの消費マインドの回復により、大幅増収となりV字回復を達成。増収効果と原価率の改善及び販管費の効率的活用に努めた結果、売上・各利益段階で過去最高を更新

□ 国内市場

- 消費マインドが回復傾向に
- 前期落ち込んだ「肌ラボ」、日やけ止めがコロナ前を上回る増収に
- 高額目薬「メラノCC」「デオコ」「ロートV5粒」など話題の商品は好調持続
- 新発売の新型コロナウイルス抗原迅速検査キットも増収に寄与
- 天藤製薬(株)、ロートニッテン(株)、クオリテックファーマ(株)も売上・利益に貢献

□ 海外事業も大幅増収、大幅増益

- 中国・香港・インドネシア・UK等が好調に推移し、ベトナムのマイナスをカバー
 - リップ、アイケア、ニキビ用剤、外炎消炎鎮痛剤、ヘアケアが大きく増収
-

連結損益

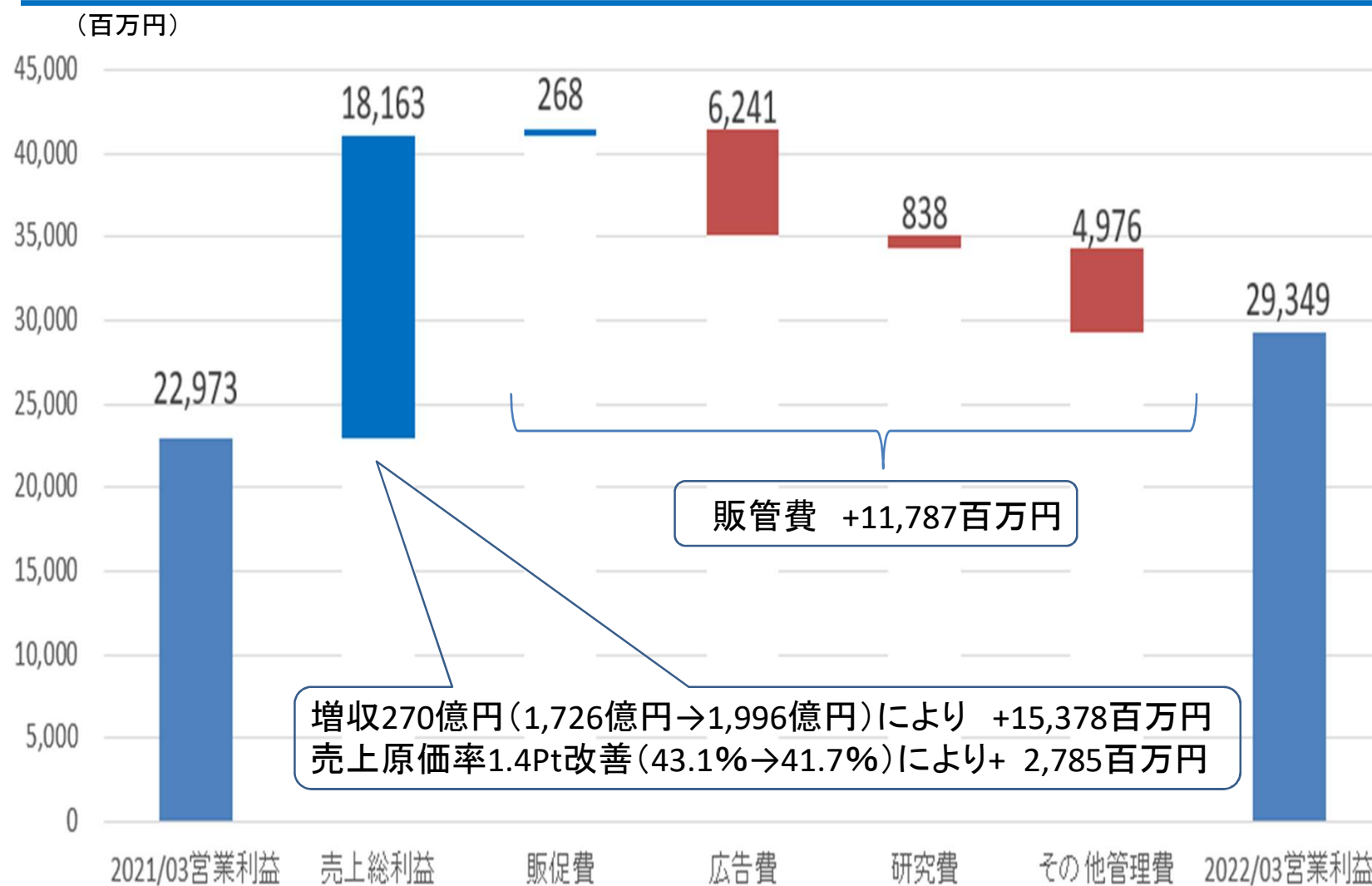
(単位 百万円,%)

	2022年3月期 (新基準)	売上高比	2021年3月期 (新基準)	増減額	増減率
売上高	199,646	100.0	172,643	27,003	15.6
売上原価	83,157		74,318	8,839	11.9
原価率	41.7		43.1		
販管費	87,139	43.7	75,351	11,787	15.6
販促費	11,575	5.8	11,843	△268	△2.3
広告費	26,539	13.3	20,297	6,241	30.8
研究開発費	8,740	4.4	7,903	837	10.6
その他	40,283	20.2	35,307	4,976	14.1
営業利益	29,349	14.7	22,973	6,376	27.8
経常利益	29,084	14.6	23,893	5,191	21.7
親会社株主に帰属 する純利益	21,018	10.5	16,726	4,292	25.7

※前年同期を新基準にした際の比較

※為替レート：USドル=111.55円（前年同期 105.96円）

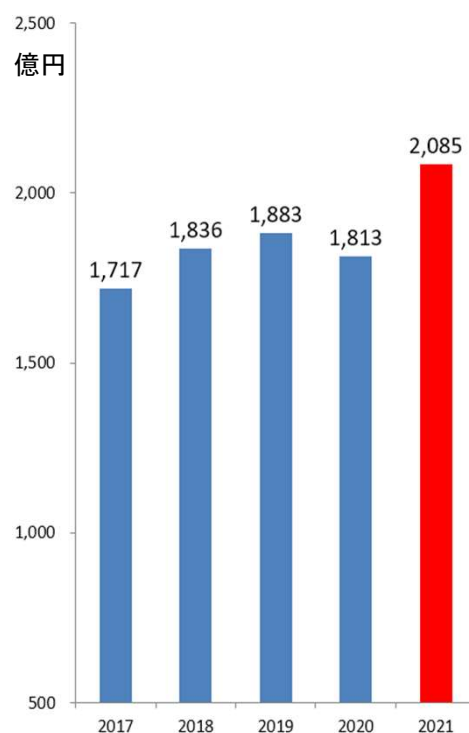
連結営業利益の増減



業績推移(5年)

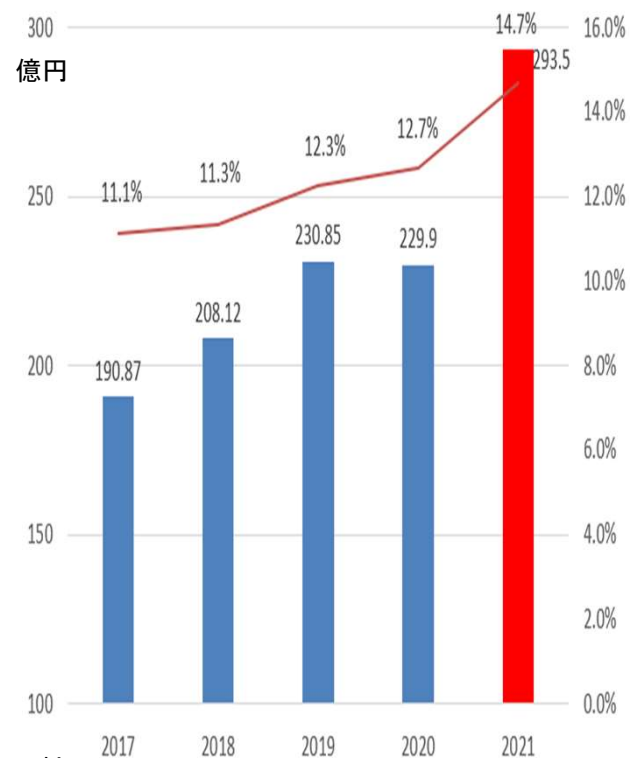
売上高

5年平均増収率
6.4%



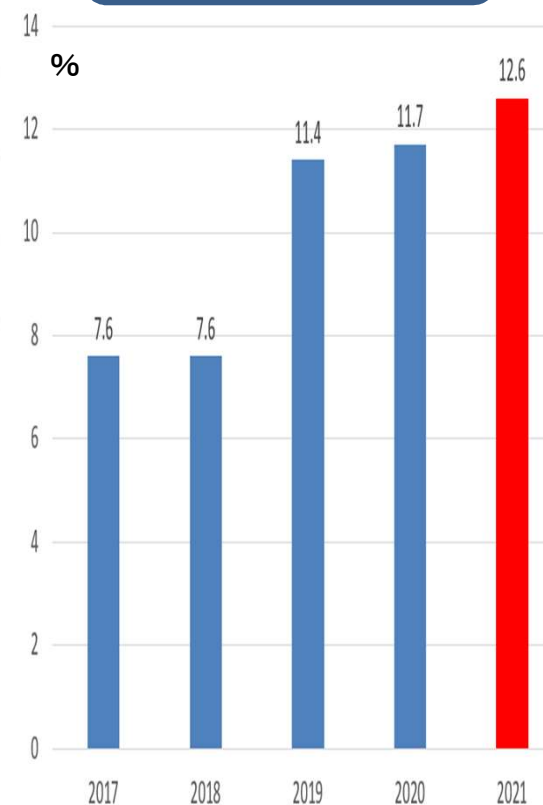
営業利益

5年平均営業利益率
12.4%



ROE

5年平均10.2%



※売上は2021年を旧基準に換算しての比較

報告セグメント別売上

(単位:百万円、未満切捨、%)

	2021年3月期 (旧基準)		2021年3月期 (新基準)		2022年3月期 (新基準)				
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
売上高	181,287	100.0	172,643	100.0	199,646	100.0	27,003	15.6	
報告セグメント	日本	115,629	63.8	106,985	62.0	121,417	60.8	14,432	13.5
	アジア	48,056	26.5	48,056	27.8	55,988	28.0	7,931	16.5
	アメリカ	7,687	4.2	7,687	4.5	10,037	5.0	2,350	30.6
	ヨーロッパ	8,149	4.5	8,149	4.7	10,297	5.2	2,147	26.4
	計	179,522		170,878		197,740		26,862	
その他	1,764	1.0	1,764	1.0	1,906	1.0	141	8.0	
為替レート (USD/円)	105円96銭		105円96銭		111円55銭				

報告セグメント別営業利益

(単位:百万円、未満切捨,%)

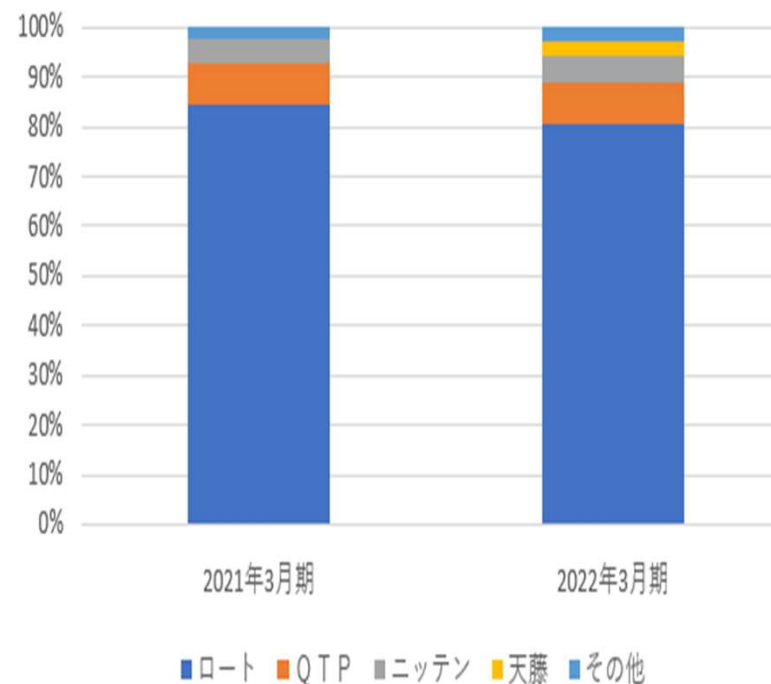
		2021年3月期 (旧基準)		2021年3月期 (新基準)		2022年3月期 (新基準)			
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
営業利益		22,990	100.0	22,973	100.0	29,349	100.0	6,376	27.8
報告セグメント	日本	14,656	63.8	14,639	63.7	19,547	66.6	4,908	33.5
	アジア	6,926	30.1	6,926	30.1	8,365	28.5	1,439	20.8
	アメリカ	458	2.0	458	2.0	216	0.7	△ 241	△ 52.8
	ヨーロッパ	375	1.6	375	1.6	563	1.9	188	50.2
	計	118,273		22,399		28,693		6,293	
その他		118	0.5	118	0.5	171	0.6	53	45.1
調整額		455	2.0	455	2.0	484	1.7	29	
為替レート (USD/円)		105円96銭		105円96銭		111円55銭			

日本 大幅な増収増益

売上高	1214億17百万円	前期比	13.5%増
営業利益	195億47百万円	同	33.5%増

- 全ての製品カテゴリーで増収
- 前期落ち込んだ日やけ止め、「肌ラボ」がコロナ前を上回る増収
- 「メラノCC」「デオコ」「ロートV5粒」など話題の商品が好調維持
- 新型コロナウイルス抗原迅速検査キットも増収に寄与
- 天藤製薬(株)、ロートニッテン(株)、クオリテックファーマ(株)など子会社も貢献
- 増収及び原価率の改善と販管費の効率的活用により大幅増益

日本内外内会社別売上比率



新型コロナウイルスの影響が一巡

□コロナ前の売上を上回る商品

- 日やけ止め 今期5,670百万円(対前々9.1%増)
- 肌ラボ 今期12,156百万円(対前々8.7%増)
- 高額目薬 今期3,718百万円(対前々8.7%増)



なりたい肌色に合わせて選べる
「スキンアクア トーンアップエッセンス」



好調な肌ラボ白潤プレミアムと
新製品の極潤エイジングケア

コロナ禍の目の疲れにプレミアムシリーズが好調

□マスク着用習慣の影響を受けた商品

- リップクリーム 3,279百万円 (対前10.8%減)

好調持続の商品群

□ SNSで話題

□ DEOCO



□ メラノCC



□ 高額目薬と連動した店頭展開で好調持続する「ロートV5粒」



新型コロナウイルス抗原迅速検査キット

- 医療機関向け(2021年5月～出荷)



- ドゥーテストCOV19(ロート販売): 薬局・行政などへ
(2022年1月～出荷)

- オミクロン株も検出可能



- 今期売上約13億円

インバウンド需要低迷も越境ECが堅調

インバウンド&越境EC売上 約18.8億円(前期比 6.8億円増)



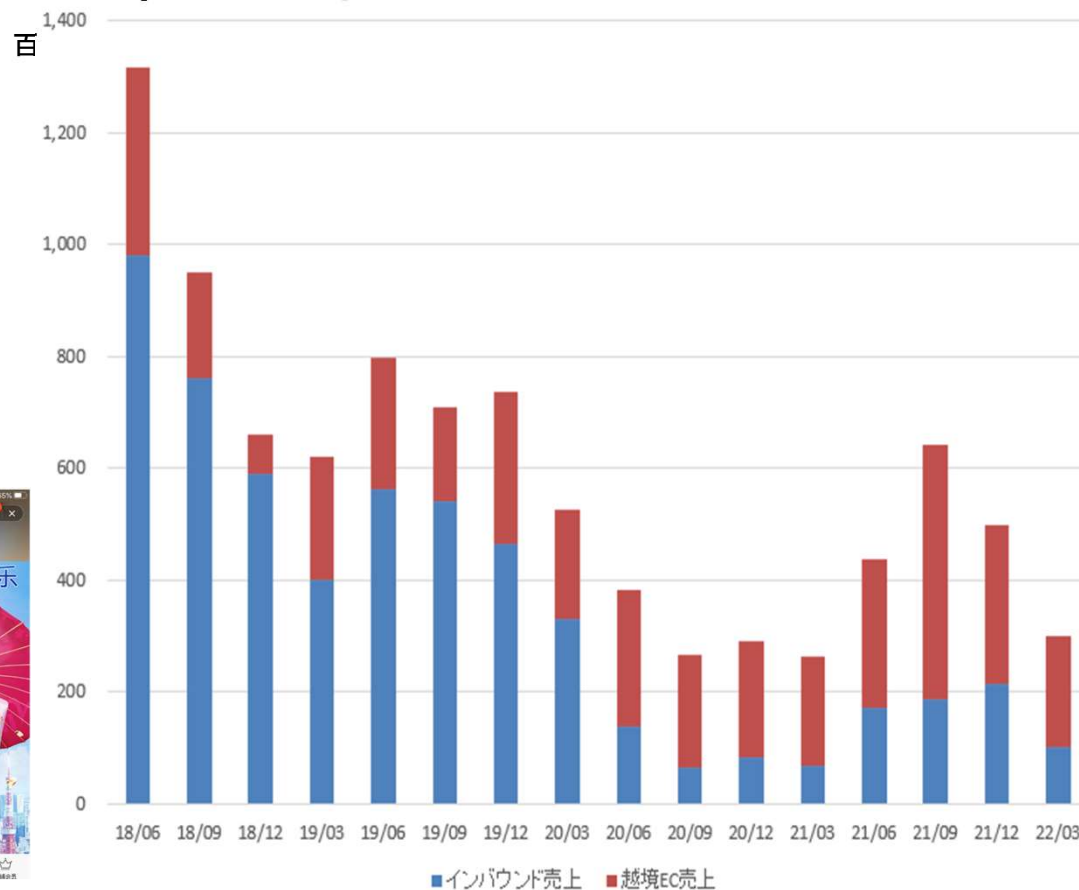
圧倒的人気のmaruCC シリーズ



エプステム ステムサイエンス
 ストリンク



目薬やコンタクトレンズ
 洗浄液も人気



インバウンド関連四半期売上の推移

アジア 大幅な増収増益

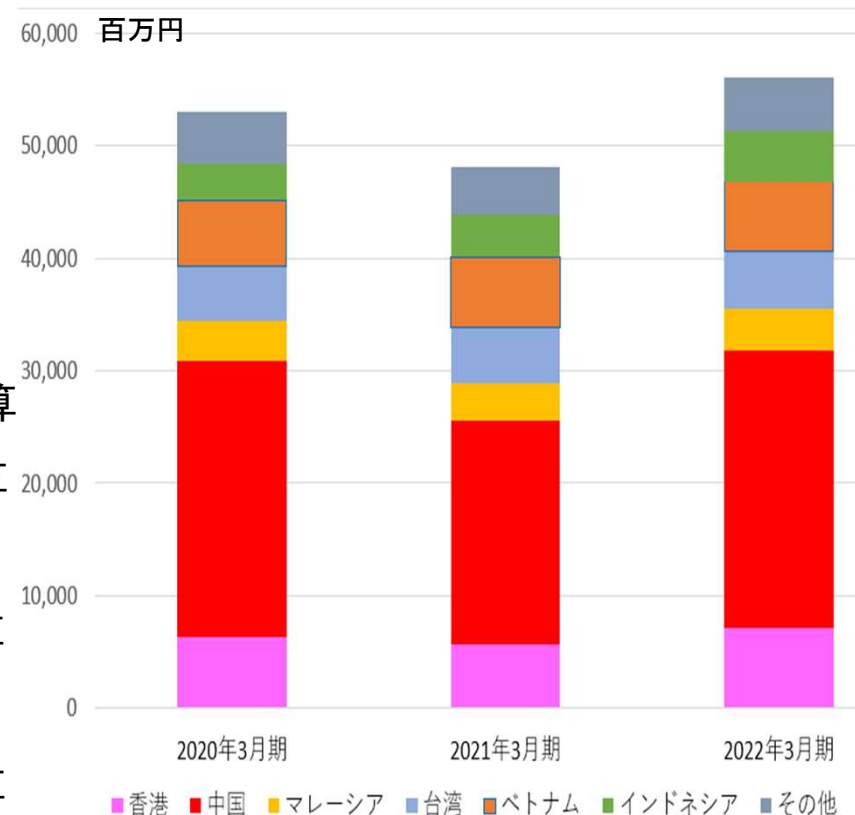
売上高	559億88百万円	前期比	16.5%増
営業利益	83億65百万円	同	20.8%増

□ 中国・香港・インドネシアが好調

□ ロックダウン政策の影響を受け
ベトナム・台湾が減収に

□ 各国の売上 (前期比、現地通貨比較)

□ 中国	8.5%増収	12月決算
□ 香港	15.8%増収	2月決算
□ ベトナム	8.4%減収	12月決算
□ インドネシア	14.9%増収	12月決算
□ マレーシア	5.7%増収	2月決算
□ 台湾	5.8%減収	2月決算



アジア 大幅な増収増益

□ リップ回復傾向。全主カブランドが好調に推移

□ 目薬	10,079百万円	対前19.1%増
□ アクネス	5,271百万円	対前14.5%増
□ 男性用化粧品	5,936百万円	対前2.4%増
□ ハダラボ	7,462百万円	対前 4.7%増
□ 日やけ止め	4,178百万円	対前16.6%増
□ リップ	9,972百万円	対前21.2%増

店頭で圧倒的
 存在感の
 リップクリーム



香港で最も大きいブランドに成長した「50Megumi」
 人気女優シャーリーン・チョイを起用し、ヘアケアカテゴリーでNO1売上を記録



リップの新製品

アメリカ 増収減益

売上高	100億37百万円	前期比	30.6%増
営業利益	2億16百万円	同	△52.8%減

- 消費マインドの回復
- 目薬、メンソレータム軟膏が好調
- ハイドロックス・ラボラトリーズ社2021年11月より連結(4カ月)も増収に貢献
- 原料・資材の調達コスト増、
ベトナムからの空輸による輸送費増や
人材不足による労務費上昇等により減益

新発売の目薬
Rohto Optic Glow



ヨーロッパ 大幅な増収増益

売上高	102億97百万円	前期比	26.4%増
営業利益	5億63百万円	同	50.2%増

- 消費マインドの回復
- Deep Heatを中心とした外用鎮痛薬が好調
- 2021年5月CEマーク点眼薬「ロートドライエイト」をポーランドで発売
UKでもAMAZONで販売し、目薬市場の開拓を始める
- 原材料・資材の調達コスト増、
運輸インフラの混乱により原価率が悪化した
ものの販管費の効率的活用により増益



ハダラボ
TOKYOも好調

人気の
Deep Heat



新発売の目薬
Rohto DRYAID

2023年3月期 業績予想

代表取締役社長
杉本 雅史

次期 業績見通しのポイント

- 新型コロナウイルスの影響は続くが、消費マインドは回復
- ウクライナ危機による原材料費や物流費の上昇により原価率悪化
- 欧米は製品価格を値上げ
- 2022年度実績が公表値を大幅に上回った
- 2023年3月期は増収、減益の見通し
- 日本以外の地域は増収増益、日本は増収減益見通し
- 海外の状況
 - 中国ゼロコロナ政策による経済減速懸念
 - ベトナム市場は復活
- 日本: 中長期の持続的成長に向けて先行投資
 - 眼科医療用医薬品・再生医療の進捗により研究開発費が増加
 - 生産設備の増強
 - 開発製造受託の進展
 - With コロナに向けての取り組み
 - 人的資本への投資
 - コーポレートガバナンスの強化
- 19期連続増配予定

次期 業績見通し

(単位:百万円、未満切捨,%)

	2021年3月期 (新基準)		2022年3月期 (新基準)		2023年3月期 (新基準)			
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	172,643	100.0	199,646	100.0	218,000	100.0	18,353	9.2
営業利益	22,973	13.3	29,349	14.7	28,000	12.8	△ 1,349	△ 4.6
経常利益	23,893	13.8	29,084	14.6	28,000	12.8	△ 1,084	△ 3.7
親会社株主に帰属 する当期純利益	16,726	9.7	21,018	10.5	19,500	8.9	△ 1,518	△ 7.2
1株当たり 当期純利益 (円)	146.63		184.26		170.95			
為替レート USD/円	105円96銭		111.55円		125円			

報告セグメント別売上予想

(単位:百万円、未満切捨,%)

		2021年3月期 (新基準)		2022年3月期 (新基準)		2023年3月期予想 (新基準)			
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高		172,643	100.0	199,646	100.0	218,000	100.0	18,353	9.2
報告セグメント	日本	106,985	62.0	121,417	60.8	126,000	57.8	4,582	3.8
	アジア	48,056	27.8	55,988	28.0	63,500	29.1	7,511	13.4
	アメリカ	7,687	4.5	10,037	5.0	15,500	7.1	5,462	54.4
	ヨーロッパ	8,149	4.7	10,297	5.2	11,000	5.0	702	6.8
	計	170,878		197,740		216,000		18,259	9.2
その他		1,764	1.0	1,906	1.0	2,000	0.9	93	4.9
為替レート (USD/円)		105円96銭		111円55銭		125円			

※ 売上高は外部顧客に対するものです

報告セグメント別営業利益予想

(単位:百万円、未満切捨,%)

		2021年3月期 (新基準)		2022年3月期 (新基準)		2023年3月期 (新基準)			
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
営業利益		22,973	100.0	29,349	100.0	28,000	100.0	△ 1,349	△ 4.6
報告セグメント	日本	14,639	63.7	19,547	66.6	17,000	60.7	△ 2,547	△ 13.0
	アジア	6,926	30.1	8,365	28.5	9,000	32.1	634	7.6
	アメリカ	458	2.0	216	0.7	600	2.1	383	177.3
	ヨーロッパ	375	1.6	563	1.9	700	2.5	136	24.2
	計	22,399		28,693		27,300		△ 1,393	△ 4.9
その他		118	0.5	171	0.8	200	0.7	28	16.6
調整額		455	2.0	484	1.7	500	1.8	15	3.1
為替レート (USドル/円)		105円96銭		111円55銭		125円			

海外の状況 ～中国ゼロコロナ政策による経済減速懸念～

- 中国でダイナミックゼロコロナ政策実施中
 - 上海でロックダウン中
 - 今後北京にも拡がるか？
- 2022年GDP目標成長率は5.5%前後だが達成は難しい？
 - 北京オリンピック後3月の消費動向は対前△3.5%



4月29日、封鎖された上海のマンション敷地内を消毒する作業員



4月30日、利用客が少ない北京駅

海外の状況 ～ベトナム市場の回復～

- 2021年GDP成長率は過去最低の対前+2.58%
 - ロートも減収
 - 6～9月厳しいロックダウン、小売店営業停止、工場の生産停止
 - ロート目薬は+10%成長を持続
- 2022年GDP目標成長率は対前+6.5～7.0%と大幅な回復目標
 - ロートも回復見込み、高成長軌道に戻す
 - 多数の新製品投入
 - デジタルに注力
 - ・自社ECストアを開始：顧客との接点拡大
 - ・デジタル番組、SNS、KOLライブストリーム販売



Rohto
Premium Store
(自社EC)



カテゴリー別売上比率

日本 中長期の持続的成長に向けて先行投資

Vision2030 ～Connect for Well-being～

□ OTCリーディングカンパニー へ進化

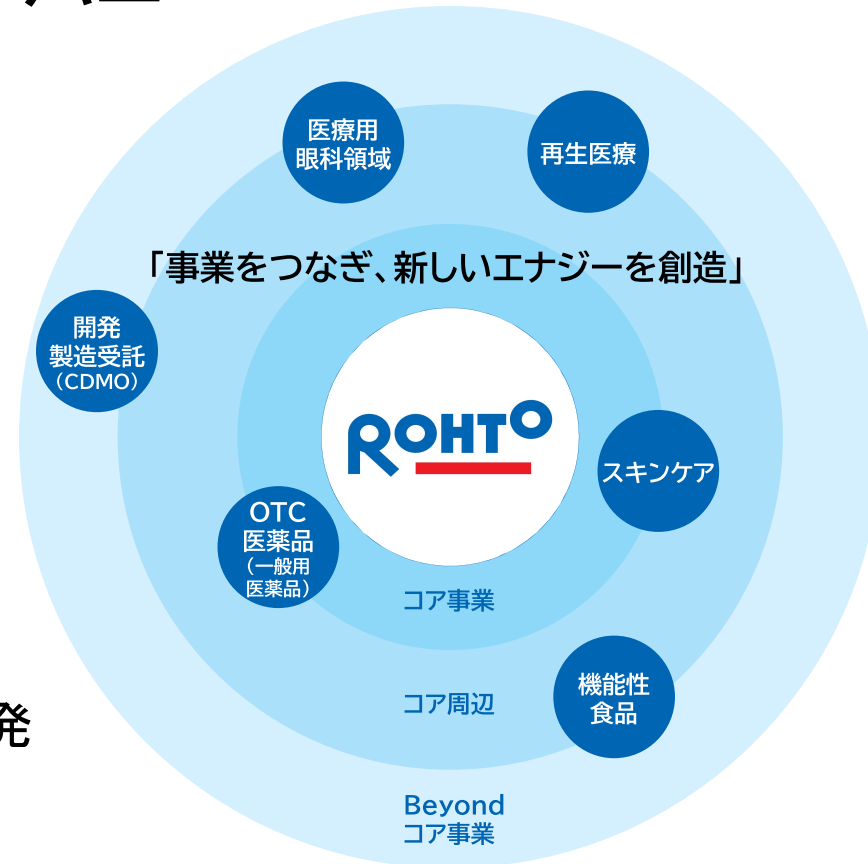
- スキンケア領域
- 機能性食品

□ 医療用医薬品

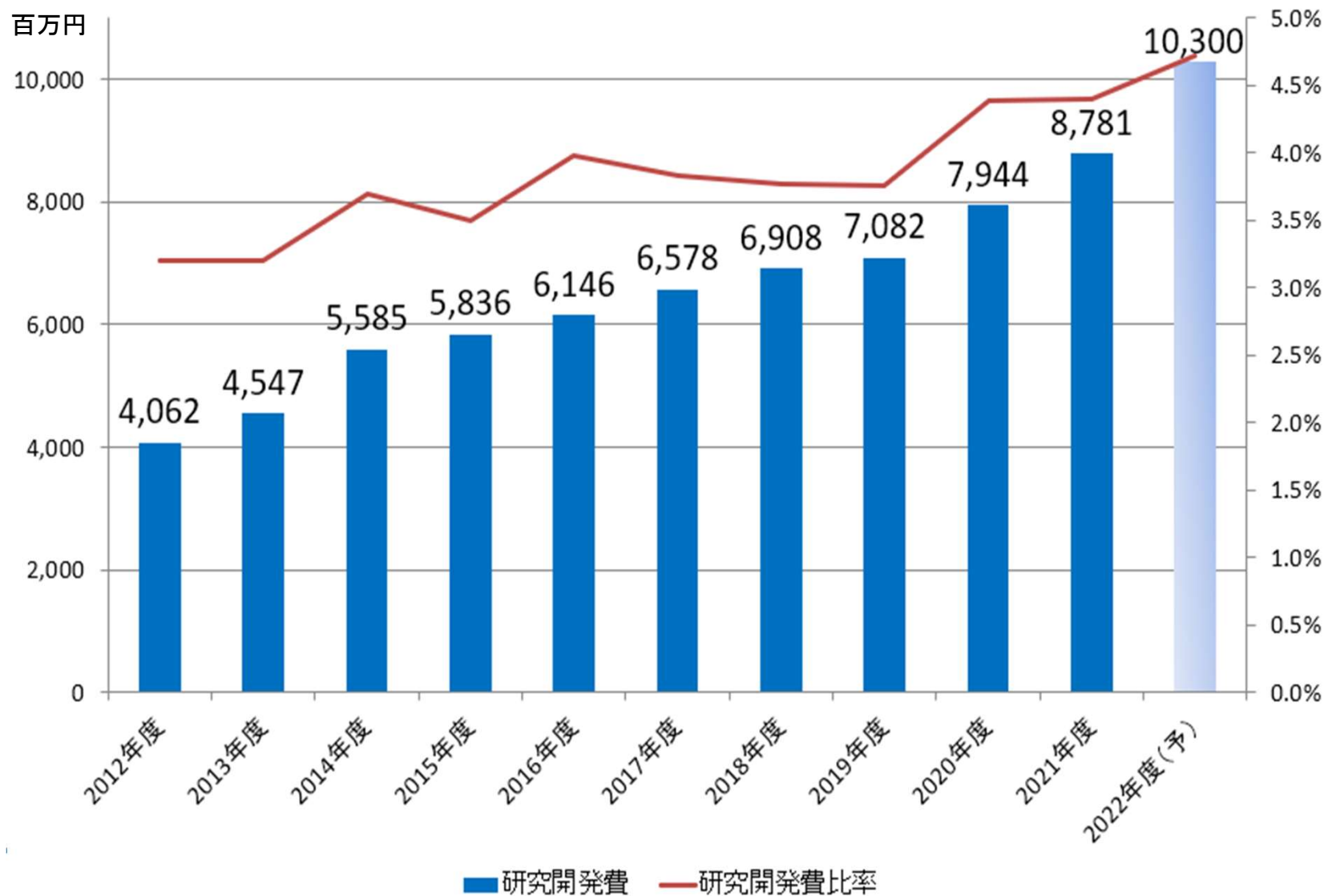
- 再生医療
- 眼科領域

新薬開発・医療機器開発

□ 開発製造受託 (CDMO)



積極的な研究開発



再生医療・眼科用医療用医薬品の進捗 **ロート製薬**

□ 国内向け再生医療用細胞CDMOを本格展開

- ヒューマンライフコード(株)と臍帯を原料とする間葉系幹細胞の製造受託契約を2022年2月に締結

□ 眼科用医療用医薬品

□ ROH-202の国内第I相臨床試験開始

- (株)デ・ウエスタン・セラピテクス研究所が開発の眼科用治療剤「DW-1001」について2019年12月ライセンス契約を締結。「ROH-202」として非臨床試験を進めてきた

□ 「ROH-201」がPhase2aからPhase2bに進捗

- 株式会社日本点眼薬研究所を2022年4月ロートニッテン株式会社に社名変更

再生医療・眼科用医療用医薬品の進捗

再生医療、医療用眼科領域パイプライン一覧 (2022年5月時点)

領域	細胞種	コード	予定適応症等	予定地域	連携先	ステージ					目標*2
						非臨床	P1	P2	P3	申請	
再生医療	ヒト脂肪由来幹細胞	ADR-001	肝硬変	日本	塩野義製薬(株)	■					▶2022年度治験終了
		ADR-002K	重症心不全	日本		■					▶2022年度治験終了
		ADR-001	腎疾患	日本		■					▶2022年度治験終了
		ADR-001	重症下肢虚血	日本		■					▶2024年度治験終了
		ADR-001	肺線維症	日本		■					▶2023年度治験終了
		ADR-001	新型コロナ肺炎	日本		■					▶2022年度治験終了
	ヒト臍帯由来肝細胞	UVI-001	神経変性疾患	日本		■					▶2023年度治験終了
	軟骨細胞キット*1		外傷性軟骨欠損	日本		■					▶2022年度治験終了
		変形性関節症	日本		■					▶2024年度治験終了	
医療用眼科		ROH-101	CMV*3 角膜内皮炎	日本	Théa. エムズサイエンス(株)	■					▶2025年度承認
		ROH-201	ドライアイ*4	日本	日本たばこ産業(株)	■					▶2027年度承認
		ROH-202	眼科用治療剤	日本		■					—

*1：インターステム社(当社子会社) *2：目標は連携先との合意ではない当社の目標 *3：サイトメガロウイルス *4：シェーグレン症候群患者を含めたドライアイ患者

製造設備の増強

□ 上野テクノセンター内に2022年9月スマート工場竣工

□ 人に優しい工場

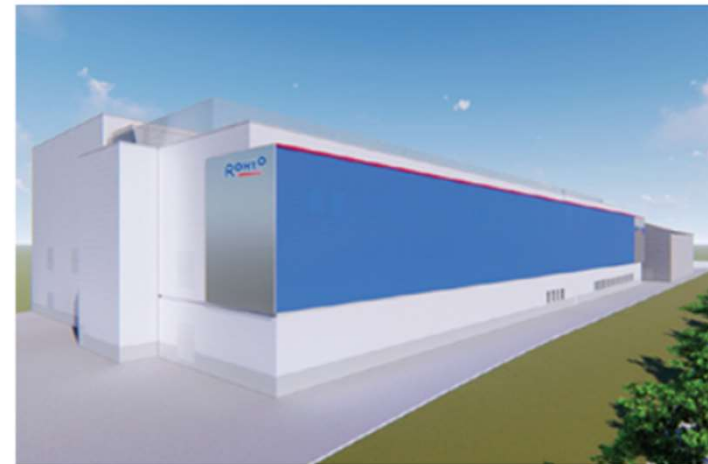
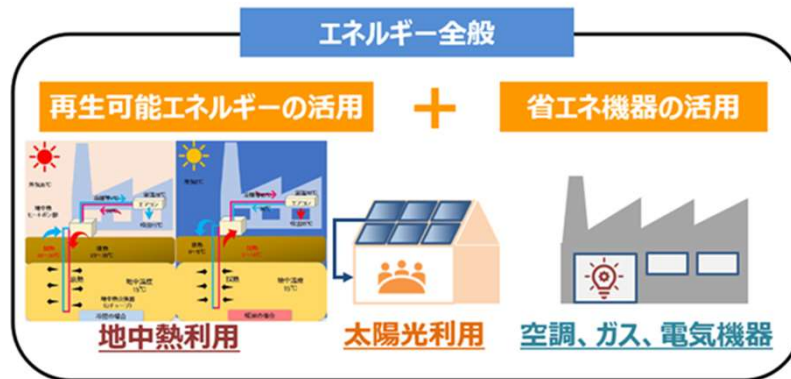
□ ロボットと人の協業による働く人の安全の確保と効率化

□ IIoTやAIの活用により生産性向上を実現

□ 環境にやさしい工場

□ 地中熱、太陽光など再生可能エネルギーの活用、省エネ機器の導入。エネルギー消費量を**既存工場の20%削減**を目指す

□ 国内外への生産拠点



開発製造受託の進展

開発製造受託子会社「クオリテックファーマ(株)」

- 2016年度より6カ年増収
 - 近年、製剤開発の受託が増加。今後も増加傾向。
- CMO事業からCDMO事業へと進化
 - 2022年12月「掛川ラボ」竣工予定



クオリテックファーマ 掛川工場

Withコロナへの対応

□ ECチャネルの強化

- D2C事業に注力
- Amazon、ロハコ成長
- 天藤製薬2022年3月よりEC事業スタート

□ 顧客との会話量の最大化を狙ったプロモーション

- インフルエンサー発信、TiktokなどのSNSを活用

□ Withコロナ時代のニーズに対応した新製品

- 赤みを伴う湿疹にアンテドラッグステロイド×清涼成分
「メンソレータム®メディクイック® プロ」軟膏とクリーム



- 気になる毛穴、ざらつき、くすみに。毛穴つるり化粧水
「オバジc リファインローション」



人的資本への投資

企業経営のパラダイムシフト ～一人ひとりの中にある可能性を引き出す取組～

働きがい

モチベーションとエンゲージメント向上

- 柔軟な働き方の推進
- 社内ダブルジョブ制度(兼任)
 - 自発型プロジェクト

【健康経営の推進】

人材育成

企業の枠を超えて活躍できる人材育成

- 多様なキャリアの推進
- 兼業制度の解禁
 - 高度な専門性
 - 社外起業家の育成

【次世代リーダー育成】

ダイバーシティ

多様な個性・価値観の受容

- 外国籍の採用
- 女性活躍の推進

【多様な社員によるイノベーションの創出】

コーポレートガバナンスの強化

□ プライム市場への移行(2022年4月～)

□ 経営体制の強化

□ 取締役会:社内取締役7名、社外取締役4名体制でより多様性のある議論と意思決定を形成する

＜新任社外取締役候補＞

・上村 達男 氏

・林 依利子 氏

□ CxOの設置:6つの最高執行責任者を置き、機動性の高い意思決定を推進する

□ サステナビリティ委員会の設置

□ 中長期視点のSDGs課題についてコミットする

□ TCFDへの賛同表明(2021年6月)。今後CDPへ対応予定

19期連続増配予定

